

平和構築と紛争予防月間 リソースのご案内 (Peacebuilding and Conflict Prevention Month)

*タイトルにリンクが設定されていますのでクリックしてリンク先ご参照下さい。

< [RI ページ](#) >

➤ [平和の推進](#)

ロータリー会員は、奉仕プロジェクトや平和フェロー・奨学生への支援を通じ、貧困、差別、民族間の衝突、教育機会の欠如、リソースの不平等な配分といった紛争の根底にある問題に取り組むために行動を起こしています。

➤ [ロータリー平和フェローシップ](#)

平和は「人」から始まると考えるロータリーは、毎年 130 口までの平和フェローシップ(奨学金)を通じて、世界平和と開発の担い手となる人材を育て、平和推進者の世界的ネットワークを築いています。

➤ [ロータリーショーケース](#)

ロータリーショーケースでは、ロータリークラブや地区が実施した様々な活動や計画中のプロジェクトの情報を掲載・閲覧することができます。ぜひ世界中のロータリー会員による平和構築と紛争予防に関するプロジェクトをご覧ください。

➤ [ロータリー行動グループ](#)

ロータリー行動グループは、クラブが地域社会を強化するための持続可能かつ効果的な奉仕プロジェクトを立案するのを支援します。プロジェクトの計画と実施に関してクラブに助言を与え、パートナーや資金、リソースを探す手助けをしてくれます。

[平和のためのロータリー行動グループ](#)は、平和に関する活動を充実させ、アイデアを実現させるためのリソースや支援をロータリー会員に提供しています。

➤ [パートナー](#)

より効果的で持続可能性の高いプロジェクトを計画するため、ロータリーのパートナーとクラブが協力することができます。このページではロータリーのパートナーとなっている団体を紹介しています。

[経済平和研究所\(IEP\)とロータリーとのパートナーシップ](#)では、「積極的平和」の実践に役立つ情報を提供しています。平和のためのワークショップには、地区補助金やグローバル補助金を利用できる場合もあります。

< [ラーニングセンター](#) >

本月間に関連するコースもごございますので、詳細は[ラーニングセンターコース一覧](#)をご確認ください。

< **各種資料** > 印刷物の販売、取り扱いは終了となっておりますので、電子ファイルをご活用ください。

～ **重点分野関連** ～

➤ [ロータリーの重点分野](#)

各重点分野のプロジェクト計画に関するヒントをご紹介します。

💡 当分野でのグローバル補助金プロジェクトをお考えの方へ

➤ [重点分野の基本方針](#)

➤ [「平和と紛争予防／紛争解決」グローバル補助金 授与のガイドライン](#)

➤ [平和を築くロータリーパンフレット\(PDF\)](#)

ロータリーは、結束力とインクルージョン、そして人びとが参加できる多くの方法を生み出す広い視野をもって、平和という概念にアプローチしています。

～ **ロータリー平和フェロウシップ関連** ～

➤ [ロータリー平和フェロウシップ申請に関するお知らせ\(PDF\)](#)

➤ [修士号取得プログラムのポストカード\(PDF\)](#)

➤ [専門能力開発修了証プログラムのポストカード\(PDF\)](#)

➤ [ロータリー平和フェロウ申請に関する重要な日程\(英語のみ\)](#)

➤ [ロータリー平和フェロウシップ](#)

ロータリー平和フェロウシップの概要と申請条件や方法、平和の推進分野で活躍する元平和フェロウなどをご紹介します。だけのパワーポイント素材です。

➤ [トルコに新たなロータリー平和センターが開設](#)

イスタンブール(トルコ)にあるバーチェシヘル大学(Bahçeşehir University)に新たなロータリー平和センターが開設され、第1期生は2024年2月から募集され、2025年初旬に留学を開始することとなります。

(2024年1月ニュース・特集記事より)

< ウェブ特集記事 >

▶ [アーチック会長エレクトが「ロータリーのマジック」を称える](#)

2024年1月、国際ロータリーのステファニー・アーチック会長エレクトは、2024-25年度会長テーマ「ロータリーのマジック」(The Magic of Rotary)を発表し、多くの人びとを救うロータリーの力を認識してこれをさらに広げるよう呼びかけました。さらに、ロータリーの行動計画を推進し、継続と変化のバランスを取り、平和のために活動するよう会員に促しました。2025年には「分断された世界を癒す」をテーマに会長主催平和会議を開催する予定となっています。

[アーチック会長エレクトとのQ&A](#)では、私の第2の優先事項は、積極的平和を通じて分断された世界を癒すこととしています。

(2024年1月、ニュース・特集記事より)

▶ [人種差別のただ中でポリオと闘う](#)

マイロン・トンプソンさんに起こったことは、わずかな体の異変から始まりました。ポリオがアメリカ南部で猛威を振るっていた1949年、2歳の小さな幼児は高熱で苦しみ出し動けなくなりました。

(2023年9月、ニュース・特集記事より)

▶ [平和というレガシー](#)

デーブ・ハミルトンさんには、平和のビジョンがありました。ロータリーと国境を越えた調停者たちとの協力関係を知って以来、彼はこのグループを自分の地区に招き、人びとが困難な問題に対処し、新しい方法で紛争に取り組む方法を学べるようにしたいと考えていました。

(2023年8月、ニュース・特集記事より)

▶ [ロータリーとの出会いで羽ばたいた環境志向の元奨学生](#)

2005年、[平和部隊](#)の2年任務の半ばにあったクリスティン・ウェグナー・ギルフォイルさんは、友人の結婚式に出席するために故郷の米国イリノイ州に帰省し、そこで「運命の出会い」をしました。

(2023年8月、ニュース・特集記事より)

▶ [メルボルン国際大会では「平和」と「気候変動」が焦点に](#)

メルボルン(オーストラリア)で開催中のロータリー国際大会でノーベル平和賞受賞者と10歳の環境活動家が講演し、より平和な社会を築き、気候変動と立ち向かうためのインスピレーションを参加者に与えました。

(2023年5月、ニュース・特集記事より)

▶ [より平和で公平な世界を思い描く:国際大会講演者ラインアップ](#)

5月27日~31日にメルボルン(オーストラリア)で開催される2023年ロータリー国際大会の基調講演では、医療の変革、都市についての再考、平和の推進、環境の保護といった分野で活躍する方々が、より持続可能で公平な世界というビジョンについて語ります。

(2023年4月、ニュース・特集記事より)

▶ **壁を打ち壊す**

2023年メルボルン国際大会で講演したりベリアの平和活動家であるレイマ・ボウイさんは、難民キャンプで暮らし、子ども兵(少年兵)のカウンセラーとして非暴力平和運動を率い、14年間続いたリベリアの内戦を終結させるための重要な役割を果たしました。ノーベル平和賞を受賞したあと、Gbowee Peace Foundation Africa(ボウイ平和財団アフリカ)を設立し、女兒と教育の問題に取り組んでいます。

本稿は『Rotary』誌 2023年4月号の掲載記事を翻訳したものです。

(2023年3月、ニュース・特集記事より)

▶ **日米合同プロジェクトで米国高校生に平和教育**

10月22日、南カリフォルニアのPalos Verdes Peninsula 高校で開催された「ロータリー模擬国連会議 (ROTARY MODEL UN Peace Conference)」に参加してきました。これは、ロス在住の**中曽根牧子ガバナーエレクト**の協力で実現した高校生対象のプログラム「南カリフォルニアにおける青少年に対する平和教育活動」の一環であり、ロータリー財団のグローバル補助金を活用しています。

(2023年2月、ロータリーボイスより)

▶ **「世界を変える行動人:インクルージョンの推進者」が選ばれる**

直接的な平和構築の活動ではありませんが、多様性、公平さ、インクルージョンを推進することは、異文化理解や共生つまりは恒久的な平和を支える重要な要素にほかなりません。表彰された6人の活動から、平和推進のために身近なところで実現可能な取り組みをご検討いただければいかがでしょうか。

(2023年1月、ニュース・特集記事より)

▶ **固い決意で走るアフガニスタンの女性たち**

ベテランランナーならトレーニングに欠かせないのは水とプロテインバー。しかし、アフガニスタンの女性ランナーたちは、護身用のナックルダスターと催涙スプレーを肌身離さず持っている……。これは、極めて保守的なこの国の女性ランナーたちの姿を捉えた2019年のドキュメンタリー映画『The Secret Marathon』に出てくる、驚くような一コマです。

(2023年1月、ニュース・特集記事より)

▶ **アフガニスタン元留学生の命を救え!**

日本のアフガニスタン避難民が抱える問題に宮崎アカデミーロータリークラブが取り組みました。アフガニスタン避難民のために少しでも何かできることはないかと思い、私たちのクラブは、神戸在住のアフガニスタン人アーメッド氏をお呼びしての基調講演、そして元留学生ご家族から直接お話を聞きながらのパネル討論というコロキウムを開催しました。

(2023年1月、ロータリーボイスより)

▶ **国境なき調停者団インターナショナルとの協力**

永続的な変化をもたらすためのカギは、人びとを中心とし、地域社会全体が関与するプロセスを通じて紛争に対応することです。これは、ロータリーと国境なき調停者団インターナショナル(MBBI)とのパートナーシップの基礎となっているアプローチでもあります。

(2022年11月、ニュース・特集記事より)

➤ [ポーランドのロータリー会員がウクライナ難民に安全な住まいを提供](#)

2022年3月、ロシアがウクライナへの侵攻を開始した直後のこと、ポーランド東部の都市ルブリンから30km少々離れた町ヴォイチェフの家に、難民が続々と集まりました。

(2022年9月、ニュース・特集記事より)

■その他のウクライナに関する記事の掲載» [ウクライナ危機へのロータリーの対応](#)

➤ [ばらばらになった土地に平和を築く](#)

イスラエル西ガリラヤ地域で行われた集いでのこと、約50名の学生たちがペアになり、互いの何が似ていて、何が異なるのかを考えているよう言われました。半分がユダヤ人、半分がアラブ人でしたが、明らかな差について述べた学生は誰もいませんでした。

(2022年9月、ニュース・特集記事より)

➤ [日本留学で出会った被爆者との再会](#)

宿命、運命……。それを何と呼ぼうと、私は「偶然」というものは信じていません。私たちの体験は、自然、数、時間、事象、観念といった繊細な体系の中に織り交ざっています。最近に起こったいくつかの非偶然的なできごと、私のこれまでの人生体験が紡いできた一本の糸とつながり、この記事を書くにいたっています。

(2022年8月、ロータリーボイスより)

➤ [生活の中で平和構築を実践する10の方法](#)

平和構築を目的とした[ロータリーのプログラムや活動](#)に参加する方法などをご紹介します。

(2022年9月、ニュース・特集記事より)

➤ [特攻隊の体験を生々しく伝える「自分の命を大切に」](#)

第2650地区では、平和学習をテーマに、インターアクターが学校の授業では知ることのできない命の尊さについて学び、見て感じ、自分の心で考えるための夏期研修(3泊4日の鹿児島訪問)を予定していました。

(2022年2月、ロータリーボイスより)

■ Rotary ニュース・特集記事ページは» [こちら](#)

■ Rotary Voice ページ(日本語)は» [こちら](#)

< [映像資料](#) >

➤ [平和への8000Km](#)

アマースト・ロータリークラブ(カナダ)は、地元の教会と協力して、シリア内戦から逃れてカナダに移住したシリア難民の6人家族を支援しています。 [日本語、7分53秒]

➤ [平和をめざす有機栽培](#)

スパンサー・レオンさん(2013年平和フェロー、Go Organics創設者)が、経済発展を通じて収入の不平等に取り組み、平和を築くという使命について語りました。 [日本語字幕、1分34秒]

➤ [女性を支える女性](#)

ロータリー平和フェローのステファニー・ウーラードさんは、女性による女性のための持続可能な団体を設立しました。
[日本語字幕、3分48秒]

➤ [「PACT」平和プログラム](#)

ロータリー平和フェローのステファニー・ウーラードさんは、女性による女性のための持続可能な団体を設立しました。
[日本語字幕、3分31秒]

➤ [タスキーギ:人種差別のただ中でポリオと闘う](#)

1940年代と1950年代、米国アラバマ州のタスキーギ大学の小児麻痺センターでは、黒人のポリオ患者のための医療が行われていました。当時、ここは黒人の医療従事者たちによって黒人のポリオ患者への治療が行われていた米国で唯一の施設でした。[日本語字幕、2分36秒]

➤ [ロータリー平和フェローシップのインパクト:ロナルド・カスレさん](#)

ロータリー平和フェローの Ronald Kasule さんは、ダイバーシティ能力支援ネットワークシステム「Dasuns」の CEO です。平和センターで障がい者の状況分析をした経験から、ウガンダで障がい者のための専門サポートサービスを利用できるよう支援しています。[日本語字幕、7分31秒]

➤ [Impact in Action 対談シリーズ:カトリーナ・バルフ&イリナ・ブシュミナ~ウクライナ支援](#)

ウクライナでの戦争で大勢の人が避難を余儀なくされています。その一人であるローターアクター、イリナ・ブシュミナさんに、女優カトリーナ・バルフさんがインタビューしました。[日本語字幕、7分31秒]

➤ [Impact in Action: 女優カテリーナ・グレアムと平和フェロー ダシルバさんの対談](#)

女優の Kat Graham さんが、ロータリー平和フェローであり、女性に対するストリートハラスメントと暴力に取り組むため、インド、ネパール、ケニアの NGO(非政府組織)と協力する Red Dot Foundation を設立した ElsaMarie D' Silva にインタビューされました。[日本語字幕、5分42秒]

■関連記事» [平和フェローから国際的な人権擁護者へ](#)

■ Rotary YouTube ページは» [こちら](#)

■利用規約は» [こちら](#)

国際ロータリー日本事務局 業務推進室

108-0073 東京都港区三田1丁目4-28 三田国際ビル 24F

Tel: 03-5439-5802 /Fax: 03-5439-0405 /Email:rijpnpi@rotary.org